

生け垣アンケート意見・要望まとめ 別紙 2

意見・要望の書き込みがあったのは 113 人で、全回答者に対する割合は 22.9%です。これほど高い比率を示した背景には、生け垣保全についてさまざまな考えや持論があり、手入れの仕方などで思い悩む世帯が多い現状があることを表わしています。「ぜひ、胸の内を伝えたい」「この際ひとこと言っておきたい」…。そんな強い心情が届いてくるようです。アンケート自体に答えなかった、いわゆる無関心層が全世帯で 46.0%に達する半面、この問題について賛否の姿勢の違いがあるにせよ、真剣に向き合っている方が少なくないことをあらためて確信しました。

意見・要望は自由記述としたため、中身に関して単純に分類や色分けすることはできませんが、ある程度の傾向をつかむことは可能です。紙幅の制約により全員、全文の掲載は見合わせてもらいます。ご了承ください。

【意見】

まずは、生け垣保全の考えに全面的に賛同する立場の声です。

・「広島市内においても数少ない街造り『外構計画ガイドライン』は遵守して欲しい。いろんな家庭の状況変化があり、それを守るのは難しい状況にはなっていますが、それを乗り越えて美しい街並みを後世にも残して欲しい」(B街区)

・「『花の季台』の名に相応しい街並、統一した良好な景観は全体の財産。誰もが住んで良かったと思える街に」(B街区)

委員会の活動を評価する声も寄せられました。

・「生け垣保全活動ありがとうございます。おかげさまで生け垣に対する意識が団地内で高くなってきた様に感じます。これからもアドバイスをいただければと思います」(D街区)

・「現役員の方々の生け垣美化への活動を支持しています。手入れの方法などをミニ知識として提供して頂けたら、ありがたいです。この花の季台を美しい街に保っていききたいものです」(C街区)

一方で、ガイドラインの見直しを求めたり、フェンス等への移行を容認したりする意見も目立ちました。主な理由は、世帯主の高齢化に伴う維持管理等の負担増です。

・「現在は年齢的にもまだ剪定ができる状況であるが、年々負担に感じてきている。剪定を行うにも脚立にのぼったり、力仕事の部分も多かったりと、重労働である。最近では、様々な素材のフェンスがあつたりするので、ゆくゆくは、手のかからない自然と調和するようなフェンスに替えたいという希望もあります。ガイドラインを見直すのも良いのではないのでしょうか」(B街区)

・「手入れのされていない生け垣はとてもみすぼらしく感じます。かと言って、生け垣を美しく保つためには剪定だけでなく、日々の水やり、消毒、肥料など、かなり手がかかります。時間がかけられない、費用がかけれない(水道代)家庭もあると思います。ガイドラインだからとひとくくりにするのは、いかがなものかと感じています」(D街区)

・「環境を保全する重要性はわかりますが、共働きで時間がない中、定期的に手入れをしたり、水をまくことも難しい状況です。これから更に高齢化が進む中、住み始めた頃の状態を維持することは難しいと思います」(C街区)

実際に生け垣を撤去してフェンスに替えた世帯からも声が寄せられています。

・「4年前に生け垣をフェンスにやり替えました。理由としては、家を留守にすることが多く手入れが行き届かず、ご近隣の家に迷惑をかけることになってしまった為です。個人的意見ではありますが、手入れをされていない方が美的景観をそこなっていると思います」(B街区)

【要望】

剪定をやりたいが、業者を知らないし、頼めばそれなりの費用がかかる。自分でやろうとすれば、剪定期、肥料や道具の知識も必要となる。あれこれ思い悩み、自治会や委員会に期待する声が寄せられました。

- ・「剪定ができる業者の一覧表があれば参考になる」(A街区)
- ・「良心的な費用で信頼できる業者をご案内頂けたら、多少お金を払ってでもお願いしたいところです。自治会の方でどこかの業者と契約を結んで、あっせんしてあげれば皆さんありがたいのではないのでしょうか」(A街区)
- ・「個人で管理しなければならぬので大変です。自治会などで業者の紹介やあっせんなどしてもらえるとありがたいです」(D街区)
- ・「生け垣の木の種類に応じた手入れの方法について知りたい」(A街区)
- ・「美的景観を保つことは大切だが、実際やり方が分からない。枯れてしまったら、次植木を買って植えても、また枯れるんじゃないかと思えます。費用もかかるし若い世代には苦しいかも…。手入れする時間もなかなかとれないこともあります」(C街区)
- ・「剪定する時期がよく分からないので、回覧板がまわってきて教えて頂けるのは、大変助かっています」(B街区)
- ・「毛虫などの害虫予防で一斉に消毒して欲しい」(D街区)
- ・「いろいろアドバイスがほしいです。詳しい人に見てもらってアドバイスもらいたいうちは手を上げて(お願いして)見てもらえるようなふうにしてもらいたいです」(B街区)
- ・「簡単な剪定の仕方など、講座みたいなのがあったら嬉しいです」(D街区)

【その他】

隣家の生け垣の手入れ不足が元で、隣人との関係が気まづくなり、中にはトラブルに発展したと訴える世帯が意外にも多くあります。残念なことです。(街区名は割愛)

- ・「隣の生け垣が剪定されず、我家の敷地内に入ってきて、邪魔になっているが、言ったら悪いと思っって言えないし、勝手に切ったらいけないので困っている」
- ・「隣人が生け垣の手入れをまったく行わず、枯れ葉、枯れ枝、毛虫、毛虫のフンがいつも大量に落ちてくる。その事を隣人に手入れしてほしいと頼みに行ったら、トラブルになった」
- ・「隣地のカーポートに面する部分の生け垣が、隣人より敷地内に入らないように言われているため剪定できない。そもそも集団的な考え方が出来ない人がいる中で、隣人の許可を得なければ剪定できないような箇所のガイドラインは、削除すべきと考える。一考願いたい」
- ・「手入れが行き届いていなくて近隣に迷惑がかかるのは、避けなければならないことだと思います。枝や葉がのびぼうだいで、近所だとなかなか手入れしてほしいと言いつけず…。難しい問題です。委員会の方は大変でしょうが、こうやって住民の意識に向けた活動はありがたく思います」